



『人間の生活を支える』を学ぶ。

価値観の多様性に触れ、私たちの生きる社会について理解し、社会福祉学を基盤として、人間と社会のあらゆる問題に対する支援の在り方について学びます。

教育・福祉・医療・司法等のさまざまな領域での相談援助・対人援助を担う高度な知識・技術を持つ専門職の育成を目指します。



グループワークで事例検討



ゼミのフィールドワークとして地域の多世代交流イベントに参加



グループでディスカッション

4年間の学び

福祉コースでは、国家資格取得を目指す社会福祉士養成課程を基盤とし、併せてスクールソーシャルワーク教育課程の科目を開設しています。1年次には児童家庭福祉論や社会福祉原論など生活と福祉を理解する基礎を学びます。2年次では、障害者福祉論や保健医療論など生活の理解や制度の理解、実践に即した演習を通して福祉実践について学んでいきます。3年次からはソーシャルワーク各論やスクールソーシャルワーク論などの履修によって社会福祉実践理論を学びます。実習は2年次に60時間、3年次に180時間を行うことにより現場実践を通じた学びの深化を目指します。4年次には学びの集大成として卒業研究に取り組み、卒業論文をまとめます。

目指せる資格

◎社会福祉士(国家資格)

- ①指定科目の履修
- ②国家試験受験、資格取得

◎スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程認定事業修了

(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟)

- ①指定科目の履修
- ②社会福祉士資格取得
- ③日本ソーシャルワーク教育学校連盟に申請、修了証交付

先輩Voice

教育支援専門職育成課程 福祉コース3年
愛知県立半田高等学校出身



授業・実習で培った幅広い視野。
将来は、利用者に真摯に向き合う
ソーシャルワーカーが目標です。

印象に残っているのは「子ども家庭福祉」の授業です。虐待には親の経済的な事情や障害が関係しており、その原因を多角的に捉えて支援する必要があることを学びました。今の福祉制度にはまだ課題があり、子どもを支える制度への関心も高まりました。本コースでは、教育、心理、医療、司法など多様な視点から「福祉」を学ぶことができ、他の専門職の視点も理解しやすくなります。ソーシャルワーク実習をはじめ、実践の機会も充実しており、先生方のあたたかい指導と貴重な経験が、成長を後押ししてくれています。

■ 2024年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	高齢者福祉論				
2時限	心理学概論	点字の基礎		障害者福祉論	ポルトガル語Ⅱ
3時限			この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	ソーシャルワーク演習Ⅱ	
4時限	英語コミュニケーションⅡ	ソーシャルワーク総論Ⅰ		社会調査論	
5時限					

※上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。